



# WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ  
(創立1959年11月12日)



UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために  
手をとりあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

## よいことのために手をとりあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

## 第3013回例会 (令和8年2月9日)



ホームページQR

### [米山奨学金贈呈]

米山奨学生 金 セハ さん



### [会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

去る2月7日に開催されました「第21回MANABI祭」に、上田ロータリークラブを代表して出席してまいりましたのでご報告いたします。



当日は、留学生による日本語スピーチコンテストをはじめ、ネパール、スリランカ、ミャンマーなど各国の学生による歌やダンスの披露、文化紹介の展示が行われました。また、書道や俳句を体験した紹介コーナーも設けられ、学生たちが日本文化に深く親しんでいる様子が非常に印象的でした。

当クラブからは、審査委員長として桑原会員、審査員として尾台会員にご協力いただいたほか、土屋上田市長、土屋市議会議員、そして私も来賓として参列いたしました。

スピーチコンテストの表彰式におきましては、最優秀賞に輝いた学生に対し、当クラブより賞状と賞品を授与し彼らの努力を称えとともに、当クラブの奉仕精神を伝える良い機会となりましたことをご報告いたします。

さて、歴史と伝統を誇る上田ロータリークラブですが、先日の会員増強I.D.M.委員会による例会において、入会10年未満の会員が多数を占めているという結果が示されました。

一方で、「会員大会」や「I.M.・会員セミナー」といった、ロータリークラブについて学ぶ数少ない機会への参加者は、入会10年以上の会員が多い残念な現状となっています。

その結果、ロータリークラブについての理解や、国際ロータリークラブやR I 第2600地区、そしてこれからの「上田ロータリークラブ」がどこに向かって、どのように歩んでいくべきかについて、共有しきれていない部分もかなりあるのではないかと感じています。

そこで、本年度も折り返しとなるこのタイミングで、会長方針にも書かせていただきました「テーブルディスカッション形式」により、会員全員で「今の上田ロータリークラブ」、そして「これからの上田ロータリークラブ」について、限られた時間ではありますが、しっかりと話し合い、ロータリークラブを学び、上田ロータリークラブの未来を大切な機会とし、次年度に引き継いでいきたいと考えます。

本例会は、会員増強I.D.M.委員長である小林浩太郎委員長に、前回に続き担当していただきます。

どうか本日の例会が、皆様にとりまして、沢山の気づきと、意義ある時間となりますよう、皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。

また、本日の議論や皆さまからの声を踏まえ、本年度の正副役員で構成する「絆物語会議」と特別委員会の「3-year-Goals委員会」において、これからの上田ロータリークラブの在り方をさらに掘り下げ、議論し、次年度に引き継いでいきます。

何卒、皆さまの深いご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【メインプログラム】

◆小林 浩太郎

会員増強I.D.M.委員会 委員長



<会員参加型グループディスカッション>

メインテーマ：10年後の上田ロータリーをデザインする

本日の例会では、「10年後の上田ロータリーをデザインする」をテーマに、全6テーブルに分かれてディスカッションが行われました。今回は決定事項を設ける場ではなく、各テーブルが「公共イメージ」「運営」「会員増強」の各視点から現状を分析し、未来に向けたアイデアを出し合う発表の場となりました。

## ■各議題における討議内容と提言の詳報(討議時間20分)

### 1. 公共イメージ(1・2番テーブル)

#### 【現状の課題と分析】

- **認知度の不足**：「ロータリーが具体的に何をしている団体か」が外部から見えにくく、他団体と比較される場面も多い。
- **発信力の弱さ**：既存のメディア活用方法が今の時代に合っているか、反響があるのか疑問視されている。
- **奉仕の歴史**：かつては救急車の寄贈や植樹、河川清掃などインパクトのある活動を行っていたが、現在は外向けのPRが不足している。

#### 【未来への提言】

信頼に見える化し、地域に選ばれるクラブへ

- **SNS・デジタル戦略の強化**：YouTubeの活用、Instagramの発信、ホームページの充実にも力を入れ、職場例会などの活動をU C V(地元メディア)へも積極的に取材依頼する。
- **「顔の見える」独自広告**：会員全員の名前を掲載した独自広告を出し、信頼感と安心感を与えることで「知り合いが興味を持つ」きっかけを作る。
- **実践的な奉仕活動のPR**：市を巻き込んだゴミ拾いやインパクトのある新事業を企画し、外に向けて「いいこと」をPRすることで、入会意欲を喚起する。

### 2. クラブ運営(3・4番テーブル)

#### 【現状の課題と分析】

- **親睦の深まり**：例会は1時間という適当な時間で  
行われているが、聞いているだけでは集中力が削がれ、

会員同士の経験を話す機会が少ない。

- **理解度の不足**：クラブアッセンブリーや委員会の内容が、全会員に十分伝わっていない懸念がある。
- **激減する会員数**：ピーク時から地区の会員数が大きく減少しており、上田RCも会員増強は急務である。

#### 【未来への提言】

会員満足度を高める「参加型」への変革

- **交流の質を上げる工夫**：理事が食事の際だけでも各テーブルに混ざる、あるいは「誕生月別」などテーマを持ったテーブルシャッフルを行い、役員と会員の垣根を低くする。
- **会員教育の充実**：会員セミナーやアッセンブリーを重視し、会の内容や委員会の役割をより深く理解できる機会を作る。
- **モチベーションに直結する工夫**：季節感のあるヘルシーな食事の提供や、参加型プログラムの導入により、毎週の例会に「より深く入っていける」環境を整える。

### 3. 会員増強(5・6番テーブル)

#### 【現状の課題と分析】

- **多様性の変遷**：女性会員の受け入れは進んでいるが、まだ女性や若手、異業種が入りやすいハードルの調整が必要である。
- **メリットの提示**：クラブに入るメリットや、奉仕や支援活動を行う団体としての実態が明確に伝わっていない。
- **コミュニケーションの偏り**：固定テーブルや役員席などにより、話せる相手が限定されてしまう傾向がある。特に新入会員・若手の受け入れ態勢に課題が残る。

#### 【未来への提言】

多様性を受け入れ、敷居ではなく門戸を広げる

- **ハイブリッド例会の導入**：個人事業主、女性、子育て中の会員が、仕事や家庭の事情に合わせてオンラインでも参加できる「門戸の広い」環境を構築する。
- **異業種交流の強化**：大きい会社の社長だけでなく、多種多様な職業の個人事業主なども取り込めるよう、異業種交流の魅力を強く打ち出す。
- **「入りたい」と思わせるオープン例会**：強引な勧誘を廃し、推薦人が魅力をしっかり伝えた上で、オープン例会などを通じて自発的な入会を促す雰囲気を作る。



## ■テーマ別グループのまとめ発表

### 【公共イメージ】(発表1番テーブル)

現状の課題：ロータリーが具体的にどのような奉仕活動を行っているのか、外部から見えにくい現状がある。

- **メディアの活用**：YouTubeの活用、ホームページの充実、Instagramでの発信など、広報手段の工夫が必要である。
- **「顔の見える」広報**：会員全員の名前を掲載した公告を出すなど、信頼感と安心感を与える発信により、公共イメージの向上と会員増強を連動させる。
- **継続的な奉仕**：かつての植樹活動のように、単発ではなく継続して地域に貢献する活動のあり方を模索すべきである。

### 【クラブ運営】(発表4番テーブル)

- **コミュニケーションの活性化**：昼例会の限られた時間(1時間)では親睦を深めきれないため、食事の時間に理事が各テーブルに混ざるなどの工夫が提案された。
- **入会後のフォロー**：アセンブリ(研修会)での内容が十分に伝わっていない懸念があるため、委員会の役割などをより丁寧に伝える機会が必要である。
- **親睦の場の拡充**：夜の例会や、今回のようなディスカッションの場を増やすことで、会員同士が本音で語り合える環境を作る。

### 【会員増強】(発表6番テーブル)

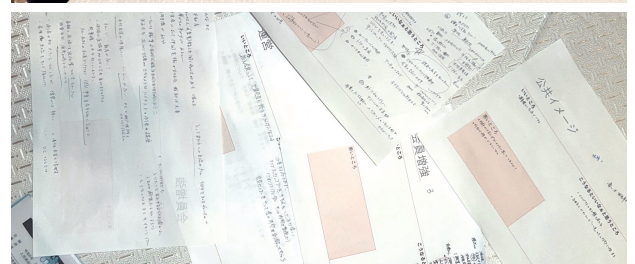
- **ハイブリッド例会の検討**：仕事や育児で物理的に会場に来られない層(個人事業主や子育て世代)のため、オンラインでも参加できる環境を整え、門戸を広げる。
- **多様性の確保**：女性会員や若手、多様な職種が入りやすいよう、既存の伝統と新しいニーズを調和させるフォロー体制が必要である。
- **「入りたい」と思わせる雰囲気**：強引な勧誘ではなく、オープン例会のような「ウェルカムな雰囲気」を作り、自発的な入会を促す。

## ■総括

今回のディスカッションは、伝統を重んじつつも、時代に即した「ハイブリッド化」や「戦略的広報」の必要性を会員全員で再認識する貴重な機会となりました。

また発表では、入会当初の経験談や勧誘のあり方への反省など、多岐にわたる率直な意見(エピソード)が共有されました。これらのアイデアは、ロータリーの「4つのテスト」に照らし合わせ、今後の上田ロータリーをより良くしていくための貴重な指針となります。

### グループディスカッションの様子



## 『ロータリーの友』紹介

保科 茂久 雑誌委員会 委員長  
ロータリーの友 2026年2月号

## 【幹事報告】

湯田 勝己 幹事

### 1. 地区事務所

「第4回地区諮問委員会」開催のご案内  
第38回全国ローターアクト大会ならびに  
付随プログラムのご案内・ご登録について

### 2. 上田六文銭RC 市政20周年広告依頼について

### 3. 上田青年会議所 新年懇親会の御礼

### 4. 上田市社会福祉協議会

令和7年ボランティア活動状況報告及び  
令和8年ボランティア登録更新について(依頼)

### 5. 小さな親切運動上田支部 小さな親切新春号

### 6. 例会変更

上田東RC 2/11(水)・25(水) 3/11(水)・18(水)  
4/1(水) 定受なし

## 【ニコニコBOX】

小山 宏幸 委員長

横谷重則様 飯島幸宏さん 尾台修一さん 小幡  
晃大さん 上島孝雄さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん  
小山宏幸さん 斉藤達也さん 酒巻弘さん 滋野真さん  
島田甲子雄さん 関啓治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん  
竹田和徳さん 土屋勝浩さん 藤森幸路さん 保科  
茂久さん 増澤宗さん 矢島康夫さん 横沢泰男さん

本日喜投額 22名 ￥ 33,000

累計 ￥1,256,000

## 【例会の記録】

司会：鈴木 芳朋 会場・出席委員

斉唱：ロータリーソング

●米山奨学金授与 金 セハさん

●会長挨拶 ●幹事報告

●メインプログラム テーブルディスカッション

会員増強I.D.M.委員会 委員長 小林 浩太郎 さん

●『ロータリーの友』紹介

保科 茂久 雑誌委員会 委員長

## 【ラッキー賞】

矢島康夫さん(滋野 真さんより 雪中梅)

小山宏幸さん(矢島康夫さんより

グアテマラのコーヒー豆)



## 【出席報告】

鈴木 芳朋 会場・出席委員

	会員数	出席 ベース	出席 者数	出席 免除(b) ( )内は 出席者数	出席 免除(a)	メーク アップ ( )内は Make up後	出席率
本日 (2/9)	51	49	36	4(2)			73.47
前々回 (1/26)	51	50	38	4(3)		1(39)	78.00

## 【次回例会予定】

3月2日(月) 慶祝

ゲストスピーチ

上野 美知子 様 「森林浴について」

(2月16日発行)

【会報担当】 藤森 幸路 会報委員長

## 2月7日(土) 第21回 MANABI祭

### 協賛のご報告



留学生による日本語スピーチコンテストにおきまして、最優秀賞に輝いた学生に対し、当クラブより賞状と賞品を授与いたしました。